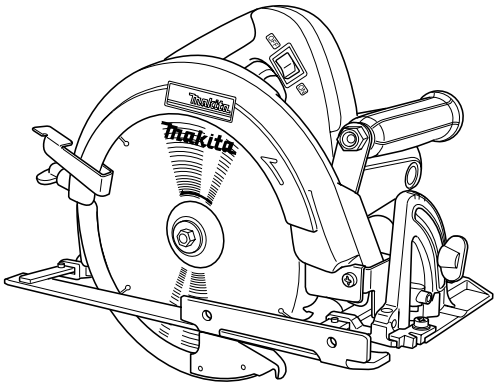
ヒューマンハードウェアのマキタ
人の暮らしとすまいのために……

makita

取扱説明書

190mm 際切マルノコ
回 モデル 5840BA
(ブレーキ付)



回
二重絶縁

このマークは、電気的に安全な二重絶縁製品だけに表示されている安全マークで、接地〔アース〕しなくても感電の心配がなく安心してご使用いただけます。

このたびは 190mm 際切マルノコをお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。
ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願い致します。
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

主要機能

モデル / 主要機能	5840BA
電動機	直巻整流子電動機
電圧	単相交流 100V
電流	11A
周波数	50-60Hz
消費電力	1,050W
回転数	4,700min^{-1}（回転／分）
ノコ刃寸法	外径 φ190mm ×内径 φ20mm
使用できるノコ刃の外径	φ180 ～ 190mm
最大切り込み深さ	64mm(90 度),46mm(右 45 度),25mm（左 15 度）
傾斜切断	左 15 度～右 45 度
長さ	297mm
質量	4.4kg

・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

注意文の ⚠警告 ・ ⚠注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は ⚠警告 と ⚠注意 ・ 注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告 ：誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意 ：誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
なお、⚠注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注 ：製品および付属品の取り扱い等に関する重要なご注意。

安全上のご注意

JPA001-2

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠警告

1. ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。
2. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
   - ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
3. 作業場の周囲状況も考慮してください。
   - 電動工具は、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
   - 作業場は十分に明るくしてください。
   - 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
4. 感電に注意してください。
   - 電動工具を使用中、身体を、アースされているものに接触させないようにしてください。(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
5. 子供を近づけないでください。
   - 作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
   - 作業者以外、作業場へ近づけないでください。
6. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
   - 乾燥した場所で､子供の手の届かない高い所または錠のかかる所に保管してください。
7. 無理して使用しないでください。
   - 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
8. 作業に合った電動工具を使用してください。
   - 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
   - 指定された用途以外に使用しないでください。
9. きちんとした服装で作業してください。
   - だぶだぶの衣服やネックレス等の装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがありますので着用しないでください。
   - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
   - 長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆ってください。

⚠警告

10.保護めがねを使用してください。
- 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

11.防音保護具を着用してください。
- 騒音の大きい作業では、耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。

12.コードを乱暴に扱わないでください。
- コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。

13.加工する物をしっかりと固定してください。
- 加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。

14.無理な姿勢で作業をしないでください。
- 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

15.電動工具は、注意深く手入れをしてください。
- 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店または弊社営業所に修理を依頼してください。
- 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースがつかないようにしてください。

16.次の場合は、電動工具のスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。
- 使用しない、または、修理する場合。
- 刃物、といし、ビット等の付属品を交換する場合。
- その他危険が予想される場合。

17.調節キーやレンチ等は、必ず取りはずしてください。
- 電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチ等の工具類が取りはずしてあることを確認してください。

18.不意な始動は避けてください。
- 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- プラグを電源に差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。

19.屋外使用に合った延長コードを使用してください。
- 屋外で使用する場合、キャブタイヤコードまたは、キャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

⚠警告

20.油断しないで十分注意して作業を行なってください。

- 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 常識を働かせてください。
- 疲れている場合は、使用しないでください。

21.損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店または弊社営業所に修理を依頼してください。スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店または弊社営業所で修理を行なってください。
- スイッチで始動および停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。

22.指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- 本取扱説明書および弊社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

23.電動工具の修理は、専門店に依頼してください。

- 本製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店または弊社営業所にお申し付けください。
- 修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

マルノコ安全上のご注意

・ 先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、マルノコとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。 JPB115-1

⚠警告

1. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
・ 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
2. 安全カバー（保護カバー）は、絶対に固定しないでください。また、円滑に動くことを確認してください。
・ ノコ刃が露出したままですと、けがの原因になります。
3. ノコ刃は、銘板に表示してある範囲内のノコ刃を使用してください。また、刃底径が 160mm 以下のノコ刃は使用しないでください。
・ けがの原因になります。
4. 切断する材料は、安定性のよい台に置いて作業してください。
・ 台が不安定ですと、けがの原因になります。
5. 切り落とし寸前や切断中に、材料の重みでノコ刃がはさみつけられないように、切断する部分に近い位置を支える台を設けてください。
・ ノコ刃がはさみつけられると、けがの原因になります。
6. 材料の切り落とし側が大きいときは、切り落とし側にも安定性のよい台を設けてください。また、切り落とした材料がノコ刃と接触し、飛散するのを防止するために、台の高さは、ノコ刃の出ししろの 3 倍以上にしてください。
・ このような台がないと、けがの原因になります。
7. 使用中は、本体を確実に保持してください。
・ 確実に保持していないと、本体が振れ、けがの原因になります。
8. 使用中は、ノコ刃や回転部、切粉の排出部に手や顔などを近づけないでください。
・ けがの原因になります。
9. 切断途中で、ノコ刃を回転させたまま本体を戻そうとすると、強い反発力が生じ、けがの原因になります。その場合、スイッチを切り、回転が完全に止まってから本体を持ち上げるようにしてください。
10. 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店、または弊社営業所に点検・修理を依頼してください。
・ そのまま使用していると、けがの原因になります。
11. 誤って落としたり、ぶつけたときは、ノコ刃や機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
12. 本体を万力などで保持した使い方はしないでください。
・ 不意の接触などで、けがの原因になります。

⚠注意

1. 刃物類（ノコ刃など）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
・ 確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
2. ノコ刃にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。
・ ノコ刃が破損し、けがの原因になります。
3. 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
・ 回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
4. 作業前に、人のいない方向にノコ刃を向けて空転させ、機体の振動やノコ刃の面振れなどの異常がないことを確認してください。
・ 異常があるとけがの原因になります。
5. ブレーキが働くときの反発力に注意してください。（ブレーキ付きのみ）
・ 機体を落としたりし、けがの原因になります。
6. 切断する材料の下に障害物がないことを確認してください。
・ 強い反発力が生じ、けがの原因になります。
7. 材料に釘などの異物がないことを確認してください。
・ 刃こぼれだけでなく、反発により思わぬけがの原因になります。
8. 切断しようとする材料の前方に手を置いたり、コードを材料の上に乗せたまま作業しないでください。
・ 手を切ったり、コードを切断し、感電の恐れがあります。
9. 回転するノコ刃で、コードを切断しないように注意してください。
・ 感電の恐れがあります。
10. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。また、コードを引っかけたりしないでください。
・ 材料や機体などを落としたときなど、事故の原因になります。
11. 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
・ けがの原因になります。
12. 切断砥石を使用する場合は、切断砥石にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してください。
・ 異常があると、切断砥石が破壊し、けがの原因になります。

注

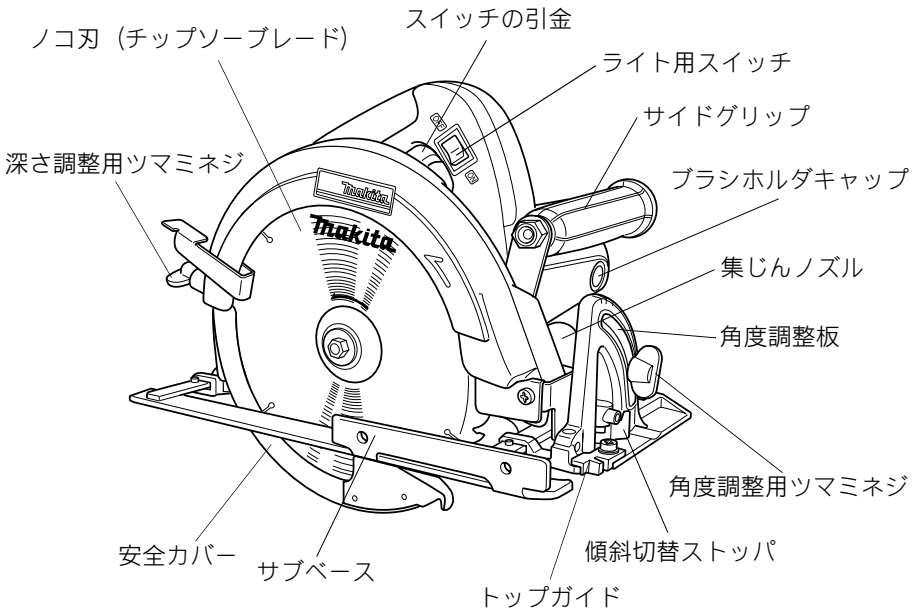
・ 電源が離れていて、つなぎコードが必要なときは、本機を最高の能率で支障なくご使用していただくために、十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

使用できるコードの太さ（公称断面積）と最大長さの関係

コードの最大長さ / コードの太さ（導体公称断面積）	銘板記載の定格電流値		
	～ 5A	5 ～ 10A	10 ～ 15A
0.75mm^2	20m	—	—
1.25mm^2	30m	15m	10m
2.0mm^2	50m	30m	20m

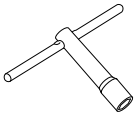
・ つなぎコードは本機のコードと同じような被ふくを施したコードを使用してください。

各部の名称および標準付属品



標準付属品

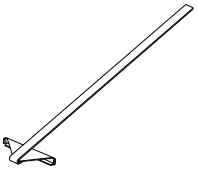
・ チップソーブレード（本機取り付け）・ ボックスレンチ 10



別販売品のご紹介

別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げ販売店もしくは、裏表紙掲載の直営事業所へお問合わせください。

・ 平行定規 600
部品番号 164614-0



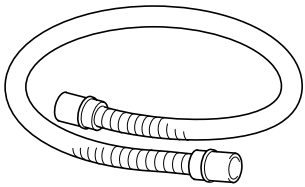
・ リフォーム用チップソー

外径 (mm)	刃数	内径	部品番号
190	48	20	A-34992

・ セーフティゴーグル（保護メガネ）
部品番号 191686-2

・ ホースコンプリート 28-5 セット品
部品番号 A-34229

・ ホースコンプリート 28-1.5
部品番号 A-34235



使い方

ノコ刃の取り付け・取りはずし方

⚠警告

ノコ刃の取り付け・取りはずしの際は、必ずスイッチを切りプラグを電源から抜いてください。

・ プラグを電源につないだまま行うと、事故の原因になります。

⚠注意

ノコ刃を取り付けるときは、本機についている矢印とノコ刃に付いている矢印の方向を合わせてください。

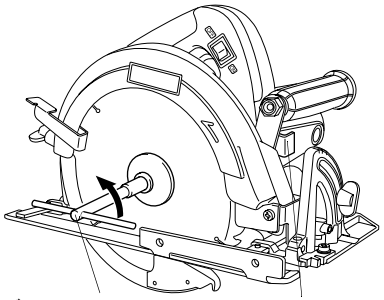
・ 矢印に合わないとノコ刃の回転方向が逆回転となり、刃先を痛めたり、けがの原因になります。

ノコ刃の着脱は付属のボックスレンチ以外の工具は使わないでください。

・ 締め過ぎや締め付け不足となり、けがの原因になります。

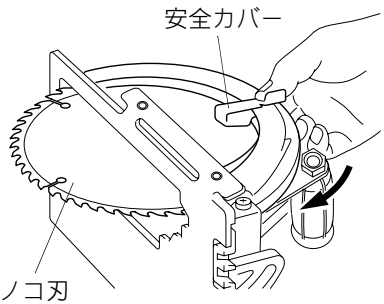
取りはずし方

・ シャフトロックを押し込み、ノコ軸の回り止めをし、ボックスレンチ 10 をノコ刃を締め付けている六角ボルトにはめ込み、左に回してはずしてください。



ボックスレンチ 10　シャフトロック

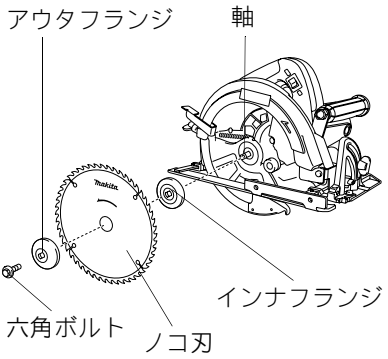
・ アウタフランジを取りはずし、手で安全カバーをいっぱいまで引き上げた状態で、ノコ刃を取りはずしてください。



使い方

取り付け方

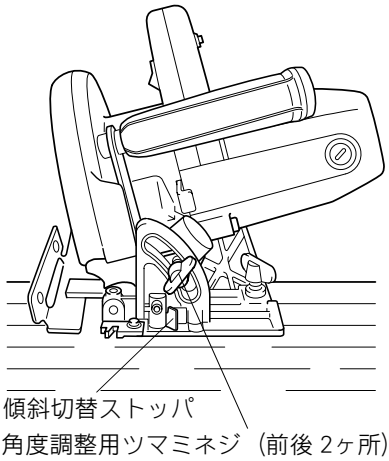
- 取りはずし方の逆の要領で行なってください。
- 軸に**インナフランジ→ノコ刃→アウタフランジ→六角ボルト**の順に取り付け、六角ボルトをしっかりと締め付けてください。
- インナフランジは、19 の刻印がある方を本機側にしてください。
- 内径 19mm の市販のノコ刃をご使用の際は、インナフランジの 19 の刻印がある方をノコ刃側にしてお使いください。



傾斜角度の調整

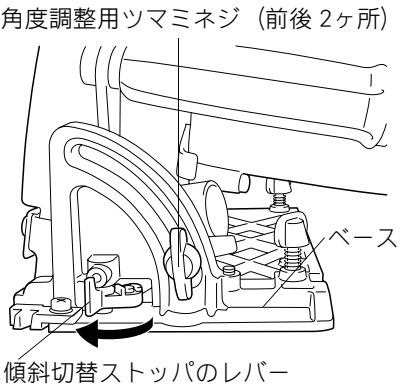
右傾斜（0 ～ 45 度）の場合

- 角度調整用ツマミネジ（前後 2ヶ所）をゆるめて、傾斜切替ストッパが確実に戻った状態でお望みの角度（0 ～ 45 度）に本機を傾けてください。
  調整後は、角度調整用ツマミネジをしっかり締め付けてください。



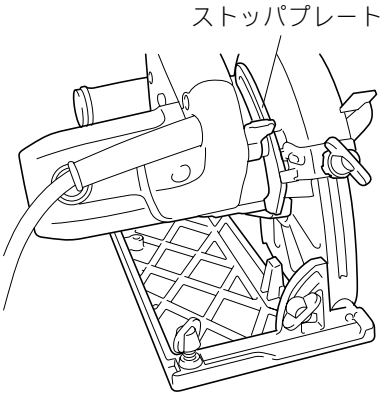
左傾斜（0 ～ 15 度）の場合

- 切り込み深さ調整用ツマミネジをゆるめて、ベースを一番下までさげ、ツマミネジを締め付けてください。
- 角度調整用ツマミネジ（前後 2ヶ所）をゆるめて、傾斜切替ストッパのレバーを回しながら、お望みの角度（左傾斜 0 ～ 15 度）に本機を傾けてください。
  調整後は、角度調整用ツマミネジをしっかり締め付けてください。



注

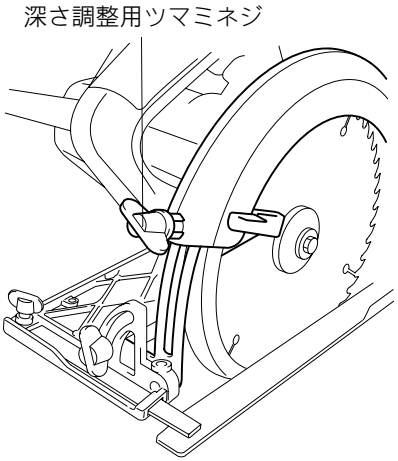
・ ストッパプレートが切り込み深さに調整・固定されている場合、ベースを一番下までさげずに左傾斜されますと、ストッパプレートとベースが所定の位置で当たらず、故障の原因になります。



切り込み深さの調整

右傾斜（0 ～ 45 度）の場合

・ 深さ調整用ツマミネジをゆるめて、お望みの深さにベースを上下して調整してください。
調整後は、深さ調整用ツマミネジをしっかり締め付けてください。



注

・ 材料が薄いときは、切り込み深さを浅くしてお使いください。

使い方

左傾斜（0 ～ 15 度）の場合

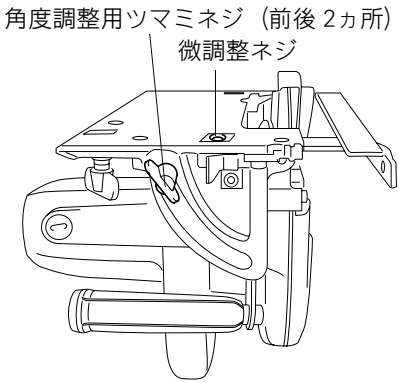
- 深さ調整用ツマミネジをゆるめてください。
- ストッパプレート固定用のレバーをゆるめて、ストッパプレートの目盛りを目安にお望みの深さに調整し、レバーを締めてしっかりと固定してください。
- ベースをストッパプレートに当たるまで上げた後、ツマミネジをしっかりと締め付けてください。

注

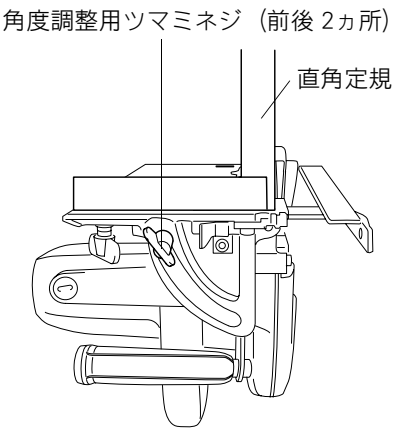
- **ストッパプレートは左傾斜 15 度の場合にのみ使用してください。傾斜角度が 15 度以下になるとベースとの当たりが確実でなくなるため使用できません。**
- **目盛りは目安ですので、切り込み深さを正確に決めたいときはノコ刃の出しろを実測してください。なお、この目盛りはノコ刃外径 190mm で左傾斜 15 度の場合の目盛りです。**

直角切りの微調整

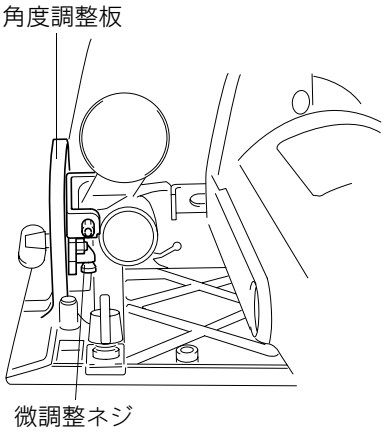
- 本機はノコ刃とベースの角度を正確に 90 度にできるように、微調整ができます。
  出荷時には 90 度になるよう調整してありますが、万一、微調整ネジが動いて角度が狂っているようでしたら、次のように調整してください。



・ 角度調整用ツマミネジ（前後 2ヵ所）をゆるめます。
傾斜切替ストッパが戻った状態にし、ノコ刃とベースの底面に直角定規を当て、直角になったところでツマミネジをしっかり締め付けてください。

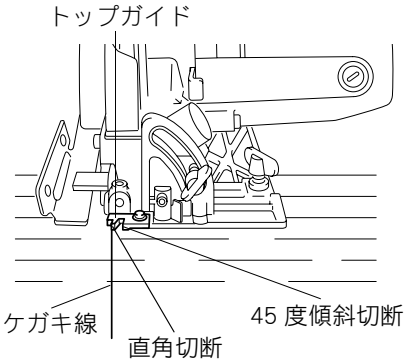


・ 微調整ネジを回し、ネジの先端が角度調整板に当たった所で止めてください。



トップガイド

・ 直角に切断するときは、トップガイドの 0 度の刻印のある方にケガキ線を合わせてください。
45 度の傾斜切断をするときは、トップガイドの 45 度の刻印のある方にケガキ線を合わせてください。



使い方

スイッチの操作

⚠警告

電源にプラグを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

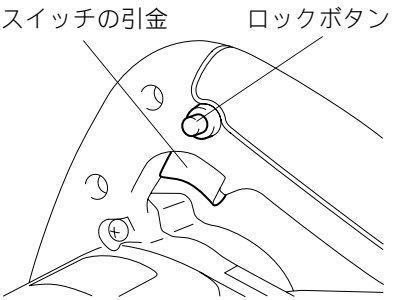
・ スイッチを入れたままプラグを差し込むと、急に回りだし事故の原因になります。

⚠注意

本機はスイッチを切ると同時にブレーキがかかります。ブレーキがかかると反発力が発生しますので、本機をしっかり保持してください。

・ 機体を落としたりして、けがの原因になります。

・ スイッチは引き金を引くと入り、離すと切れます。スイッチの引金を引いてからロックボタンを押し込むと、引金を離しても引金が固定され連続運転します。
停止するには、もう一度引金を引いてロックボタンが戻ってから引金を離してください。



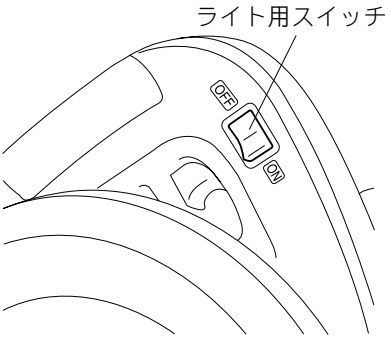
ライトの点灯

⚠注意

ライトの光を直接のぞきこんだり、目に当てないでください。

・ ライトの光が連続して目にあたると、目をいためる原因になります。

・ ハンドル部上部のライト用スイッチの ON 側を押すと点灯し、OFF 側を押すと消灯します。



注

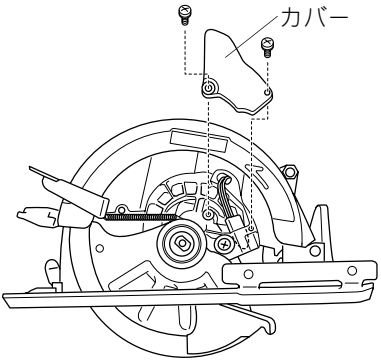
・ 本機を使用しない時は電球の寿命が短くなりますので、スイッチを OFF にしてください。

電球の交換

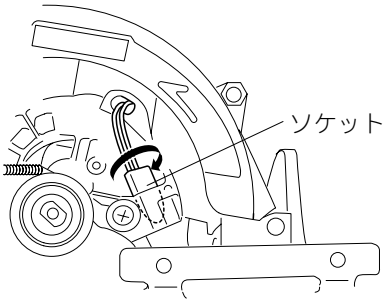
⚠警告

電球交換の際は、必ずスイッチを切りプラグを電源から抜いてください。
・　プラグを電源につないだまま行なうと、感電や事故の原因になります。
ライト消灯直後は、電球が高温になっているため、十分に冷えてから交換してください。
・　やけどの原因になります。

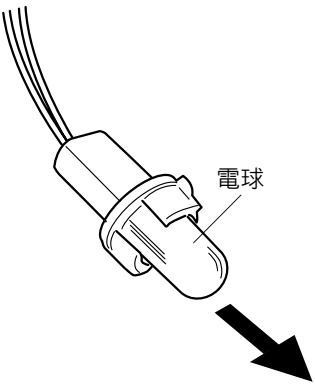
・ 電球の取りはずし方は下記の順序で行ってください。
・ ノコ刃をノコ刃の取りはずし方に従って取りはずしてください。
・ ＋ドライバでソケットを覆っているカバーの 2 本のネジを取りはずし、カバーを本機からはずしてください。



・ ソケットを図の位置まで左に回し、引き抜いてください。



・ 取りはずしたソケットから電球を強く引っ張ってください。
・ 電球をソケットに取り付ける時は、電球がソケットの奥に軽く突きあたるまで確実に挿入してください。
・ 電球交換の際は、弊社指定の電球をご使用ください。
・ 取り付けるときは、取り外す時の逆の要領で行ってください。



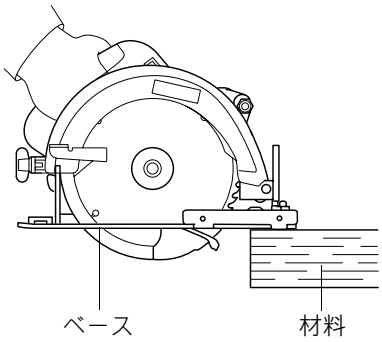
使い方

切断方法

⚠警告

使用中はハンドルとサイドグリップを持ち、本機を確実に保持してください。
・　確実に保持していないと、けがの原因となります。
切断中に本機をこじたり、バックさせて切断したりしないようにしてください。
・　本機自体に強い反発力を生じ、けがの原因となります。
際切り以外の切断作業をする場合は、サブベースをかならず取り付けてください。
・　本機が安定しないため、けがの原因となります。

・　材料の上にベースをのせ、ノコ刃が材料に触れない状態でスイッチを入れ、ベースを材料に密着させ、ケガキ線に合わせてください。
・　**本機をしっかり保持し、ノコ刃の回転が完全に上昇し安定したら、**そのまま静かに前方へ進め、切り終わるまでこの状態を保ってください。



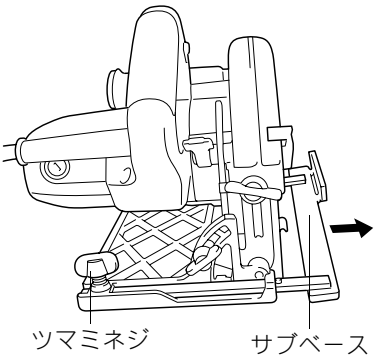
際切り方法

⚠注意

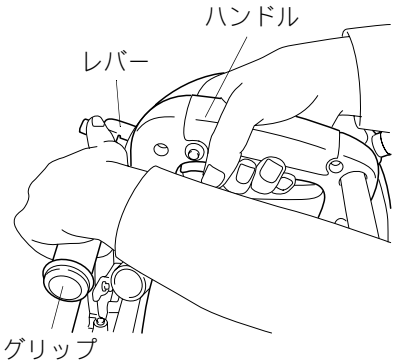
本機の進行方向に対し、左側に体が位置するような姿勢で作業してください。

・ 本機の後ろに位置すると、強い反発力が生じた場合にけがの原因になります。

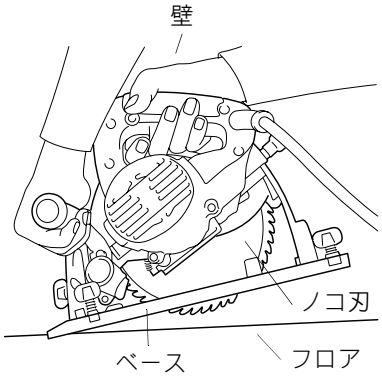
・ 際切りとはフロア等を壁際ぎりぎりで切断する作業のことで、フロア等の張り替え作業に便利です。
・ サブベース締め付け用ツマミネジをゆるめて、サブベースを本機からはずしてください。
・ 傾斜角度を左傾斜 15 度に設定し、材料の厚さに合わせて切り込み深さを調整してください。
・ ライト用スイッチを ＯＮ にしてください。



・ 右手で本機のハンドルを持ち、ベース先端右側を壁とフロアに当て、ベース後部右端は壁から少し離して保持してください。
・ 左手の親指で安全カバーのレバーを引いてベース下のノコ刃が露出するようにし、そのまま左手でサイドグリップを握ってください。
・ ノコ刃が壁とフロアに接触していないことを確認してスイッチを入れてください。

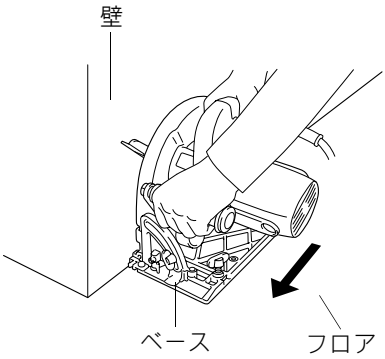


・ ノコ刃の回転が完全に上昇し安定したら、ベース先端をフロアに押え(ベース先端を支点にして)、壁を切り込まないよう注意しながら、本機をゆっくりと下げてフロアの隅を切り込んでください。ベース全体がフロアに接したら左手の親指からレバーを離してください。



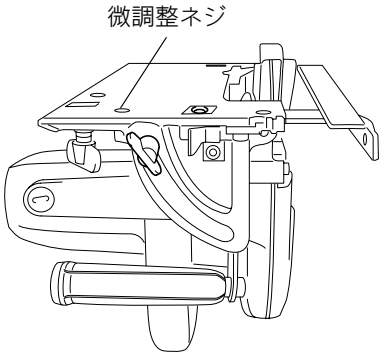
使い方

・ 両手でしっかり保持し、ベース右側側面を壁に沿わせながらゆっくりと前方へ切り進めてください。
・ 切り終わったらスイッチを OFF にし、ノコ刃の回転が完全に止まってから、本機をフロアから取り出してください。



注

・ 左傾斜時はノコ刃の刃先がベースの右側側面より出ていますので切り込んでいくときに壁を切り込まないように十分に注意してください。
・ 切り込みを入れる箇所に釘などの異物がかくれている場合がありますので、作業中に異常を感じたらすぐにスイッチを OFF にし、作業を中止してください。
・ 本機は標準付属のノコ刃使用時にベース側面（壁面）とノコ刃による切断面が一致するように設定されていますが、ノコ刃の幅が厚いと壁側に切り込まれ、ノコ刃の幅が薄いと壁側から離れます。壁面と切断面の微調整は左傾斜 15 度の調整ネジで調整してください。

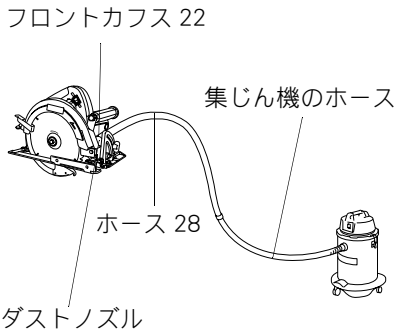


別販売品の使い方

集じん機との接続

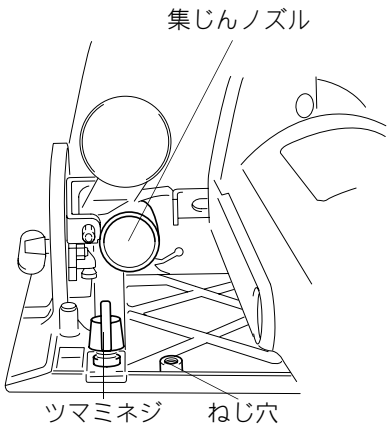
フロア用集じん機（モデル 431 は除く）の場合

・ 集じん機付属のホースにホース 28（別販売品）を延長（または取り替え）し、本機の集じん口に差し込んでご使用ください。



注

- 集じん機 436 をご使用の場合は、必ず本機のホースは使用せずにホース 28（別販売品）をご使用ください。
- ホース 28（別販売品）には工具接続用にフロントカフス 22 と 38 を同梱しています。工具の集じん口サイズに合ったカフスを取り付けてご使用ください。
- 本機にホースを接続する際、集じんノズル近くのツマミネジとホースが干渉する場合があります。ツマミネジをとなりのめねじ部に移すか、はずしてご使用ください。



・ 旧モデル 431 との接続にはジョイント 25（別販売品）をお求めください。

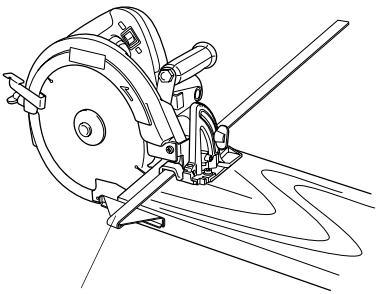
別販売品の使い方

平行定規の使い方

⚠警告

傾斜切断する場合は平行定規を使わないでください。
・ 本機が安定しないため、けがの原因になります。

・ 平行定規は正確にまっすぐ切断するときや一定の幅で繰り返し切断するときに使用してください。
・ 平行定規を取り付けるときは、ベースの前部にある定規取り付け口に定規を差し込み、定規の側面を材料の側面にピッタリと付けて、ツマミネジでしっかり締め付けてください。



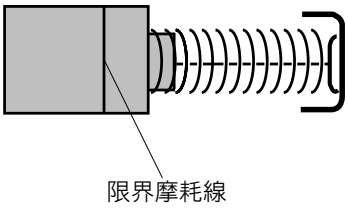
保守・点検について

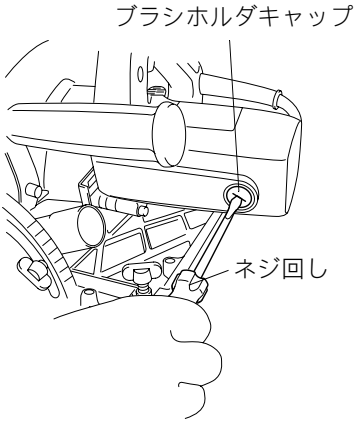
⚠警告

点検・整備の際には必ずスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。
・ プラグを電源につないだまま行うと、感電や事故の原因になります。

カーボンブラシの交換

・ カーボンブラシは時々、取りはずして点検してください。
・ カーボンブラシが限界摩耗線まで摩耗したら新品と取り替えてください。このとき、カーボンブラシがブラシホルダ内で前後にスムーズに動くか確認してください。
新品と交換の際は、必ず弊社指定カーボンブラシをご使用ください。
・ ネジ回しでブラシホルダキャップを取りはずしてください。
・ 中から摩耗したカーボンブラシを取り出し、新品と取り替えて、ブラシホルダキャップを組み付けてください。
・ カーボンブラシは 2 コで 1 組になっております。
取り替える場合は、必ず左右同時に行ってください。





ご修理の際は

・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い求めの弊社登録販売店または裏面掲載の直営事業所にお申しつけください。

全国に拡がるアフターサービス網

お買い上げ商品のご相談は、最寄りのマキタ登録販売店もしくは、下記の当社営業所へお気軽にお尋ねください。

事業所名	電話番号
札幌支店	〈011〉(783) 8141
札幌営業所	〈011〉(783) 8141
旭川営業所	〈0166〉(29) 0960
釧路営業所	〈0154〉(37) 4849
函館営業所	〈0138〉(49) 9273
苫小牧営業所	〈0144〉(68) 2100
帯広営業所	〈0155〉(36) 3833
北見営業所	〈0157〉(26) 9011
仙台支店	〈022〉(284) 3201
仙台営業所	〈022〉(284) 3201
古川営業所	〈0229〉(24) 0698
青森営業所	〈017〉(764) 4466
八戸営業所	〈0178〉(43) 3321
盛岡営業所	〈019〉(635) 6221
水沢営業所	〈0197〉(22) 5101
郡山営業所	〈024〉(932) 0218
いわき営業所	〈0246〉(23) 6061
新潟支店	〈025〉(247) 5356
新潟営業所	〈025〉(247) 5356
長岡営業所	〈0258〉(30) 5530
山形営業所	〈023〉(643) 5225
酒田営業所	〈0234〉(26) 3551
秋田営業所	〈018〉(863) 5205
宇都宮支店	〈028〉(634) 5295
宇都宮営業所	〈028〉(634) 5295
小山営業所	〈0285〉(25) 5559
水戸営業所	〈029〉(248) 2033
土浦営業所	〈029〉(821) 6086
関東物流センター	〈048〉(771) 3451
埼玉支店	〈048〉(771) 3462
さいたま営業所	〈048〉(777) 4801
川越営業所	〈049〉(222) 2512
熊谷営業所	〈048〉(521) 4647
越谷営業所	〈0489〉(76) 6155
前橋営業所	〈027〉(232) 5575
高崎営業所	〈027〉(365) 3688
両毛営業所	〈0276〉(46) 7661
千葉支店	〈043〉(231) 5521
千葉営業所	〈043〉(231) 5521
市川営業所	〈047〉(328) 1554
成田営業所	〈0478〉(73) 8101
木更津営業所	〈0438〉(23) 2908
柏営業所	〈04〉(7175) 0411
東京支店	〈03〉(3816) 1141
東京営業所	〈03〉(3816) 1141
中野営業所	〈03〉(3337) 8431

事業所名	電話番号
足立営業所	〈03〉(3899) 5855
大田営業所	〈03〉(3763) 7553
江戸川営業所	〈03〉(3653) 5171
多摩営業所	〈042〉(384) 8411
立川営業所	〈042〉(542) 1201
横浜支店	〈045〉(472) 4711
横浜営業所	〈045〉(472) 4711
川崎営業所	〈044〉(811) 6167
平塚営業所	〈0463〉(54) 3914
相模原営業所	〈042〉(757) 2501
湘南営業所	〈0466〉(87) 4001
静岡支店	〈054〉(281) 1555
静岡営業所	〈054〉(281) 1555
沼津営業所	〈055〉(923) 7811
浜松営業所	〈053〉(464) 3016
甲府営業所	〈055〉(276) 7212
金沢支店	〈076〉(249) 5701
金沢営業所	〈076〉(249) 5701
七尾営業所	〈0767〉(52) 3533
富山営業所	〈076〉(451) 6260
高岡営業所	〈0766〉(21) 3177
福井営業所	〈0776〉(35) 1911
岐阜支店	〈058〉(274) 1315
岐阜営業所	〈058〉(274) 1315
多治見営業所	〈0572〉(22) 4921
松本営業所	〈0263〉(25) 4696
長野営業所	〈026〉(225) 1022
上田営業所	〈0268〉(22) 6362
飯田営業所	〈0265〉(24) 1636
名古屋支店	〈052〉(571) 6451
名古屋営業所	〈052〉(571) 6451
一宮営業所	〈0586〉(75) 5382
東名古屋営業所	〈0561〉(73) 0072
知多営業所	〈0569〉(48) 8470
岡崎営業所	〈0564〉(22) 2443
豊橋営業所	〈0532〉(46) 9117
四日市営業所	〈0593〉(51) 0727
津営業所	〈059〉(232) 2446
伊勢営業所	〈0596〉(36) 3210
京都支店	〈075〉(621) 1135
京都営業所	〈075〉(621) 1135
福知山営業所	〈0773〉(23) 7733
大津営業所	〈077〉(545) 5594
彦根営業所	〈0749〉(22) 6184
大阪支店	〈06〉(6351) 8771
大阪営業所	〈06〉(6351) 8771

事業所名	電話番号
東大阪営業所	〈06〉(6746) 7531
関西物流センター	〈0725〉(46) 6715
南大阪営業所	〈0725〉(46) 6611
奈良営業所	〈0742〉(61) 6484
橿原営業所	〈0744〉(22) 2061
和歌山営業所	〈073〉(471) 4585
田辺営業所	〈0739〉(25) 1027
沖縄営業所	〈098〉(874) 1222
兵庫支店	〈0794〉(82) 7411
三木営業所	〈0794〉(82) 7411
尼崎営業所	〈06〉(6437) 3660
神戸営業所	〈078〉(672) 6121
姫路営業所	〈0792〉(81) 0204
広島支店	〈082〉(293) 2231
広島営業所	〈082〉(293) 2231
福山営業所	〈084〉(923) 0960
三原営業所	〈0848〉(64) 4850
岡山営業所	〈086〉(243) 4723
宇部営業所	〈0836〉(31) 4345
徳山営業所	〈0834〉(21) 5583
鳥取営業所	〈0857〉(28) 5761
松江営業所	〈0852〉(21) 0538
高松支店	〈087〉(841) 2201
高松営業所	〈087〉(841) 2201
徳島営業所	〈088〉(626) 0555
松山営業所	〈089〉(951) 7666
宇和島営業所	〈0895〉(22) 3785
高知営業所	〈088〉(884) 7811
福岡支店	〈092〉(411) 9201
福岡営業所	〈092〉(411) 9201
北九州営業所	〈093〉(551) 3481
飯塚営業所	〈0948〉(26) 3361
久留米営業所	〈0942〉(43) 2441
佐賀営業所	〈0952〉(30) 6603
長崎営業所	〈095〉(882) 6112
佐世保営業所	〈0956〉(33) 4991
熊本支店	〈096〉(389) 4300
熊本営業所	〈096〉(389) 4300
八代営業所	〈0965〉(43) 1000
大分営業所	〈097〉(567) 3320
宮崎営業所	〈0985〉(26) 1236
鹿児島営業所	〈099〉(267) 5234
沖縄営業所	大阪支店の欄をご覧ください。

882061-0

株式会社マキタ
愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711 （代表）